

低コストアルミフード構造

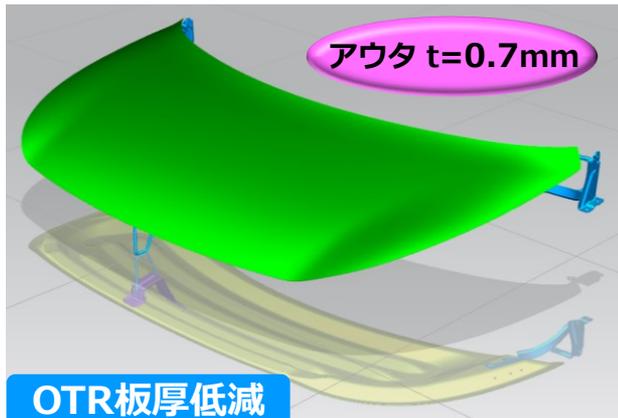
【開発フェーズ】
 ・基礎検討
 ・開発中
 ・開発完了

効果

- 重量軽減率：鋼板フード比48%（従来アルミフード比で10~20%コスト低減）
- 構造合理化により、通常の部品点数7点から5点まで削減

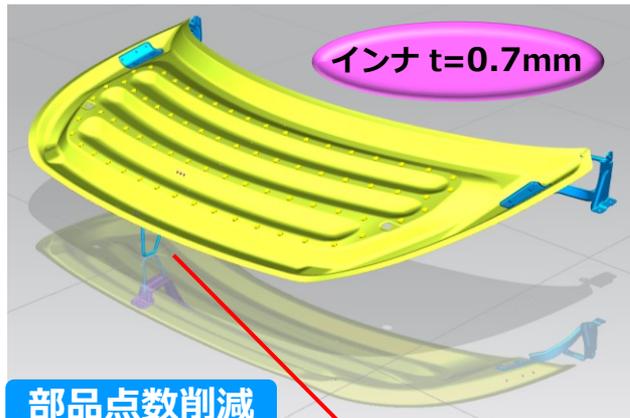
ポイント

各種性能評価を含む構造提案が可能



OTR板厚低減

課題：張り剛性確保
 ⇒マスチック間隔最適化
 ⇒INR構造最適化



部品点数削減

デントRF廃止
 ⇒INR構造最適化

鋼板製ベースプレート廃止
 ⇒鋼板製ロックRF適用（個別塗装）
 （亜鉛アルミめっき鋼板適用）



INR板厚低減

課題：フードねじり剛性確保
 ⇒ヒンジRF構造最適化
 ⇒INR外周構造最適化

課題：歩行者保護性能確保
 ⇒INR構造最適化
 ⇒低強度材適用